

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]*

禰子内親王家庚申夜歌合

二題

春夜月

歸雁

蛙

吳竹

早蕨

萱菜

躑躅

哥人

尤

小女君

高小

出雲

中務

甲斐

右

小武部

貞作



武藏

武部

兵衛

中務

中務

一番 春夜月

六言

尤

宮小女君

曇りゆく梢小影の月影の盪とみるさくら

早右

送兼

小女部

みくも袖女は法衣きり春の衣影をわくはる月影

二番

早右 出雲

春夜の月ふらふらさきまひらるる山のさくら花

早右

貞作

さみだの影さけるも鳥影のさくら花の影も守り

三番 帰雁

尤

中務

戻りゆく影さける雁の影さくら花の影も守り

早右

戻りゆく影さける雁の影さくら花の影も守り

四番

尤

宮の小女



心はあきらむすむらさきしつゝ

右

小武部

雪のけしきめいしつゝ

五番 陸

左

小舞

吹のたや吹くぬきぬき

右

武部

まふとけしきつゝ

六番

中務

今までのいびきのまをり

右

武部

くさくさしつゝ

七番 兵行

左

甲斐

ゆめしらしつゝ

右

兵部

春めもつゆもつゆ

八番 早蕨

左

小武部



春三月

三月廿一

此の人のいふ所の春は昔の昔の處のくま煙をらる

女

或部

山陰のくま煙をらる武よりくの野のくま煙をらる

九番 莖菜

さき

中務

御まをくすまをまのまをらる庭のくま煙をらる

女

弟作

日よくくま煙をらるくま煙をらるくま煙をらる

十番 躑躅

九

小式部

君代をのくま煙をらるくま煙をらるくま煙をらる

右

兵衛

宏清のくま煙をらるくま煙をらるくま煙をらる

右様子内親王家庚申夜舞合以百苑為宗固希書寫依意致本

不能校正

春三月

三月廿一